



学校だより  
発行日 令和8年1月8日(木)

## 美里町立小牛田小学校

電話 0229-32-2319  
FAX 0229-32-2321  
小牛田小学校HP  
<http://kogota-es.misato-ed.jp/>

小牛田小学校は、校木「アカシア」にちなみ、折り句で目指す児童像を設定しています。  
ア…明るい子ども 力…賢い子ども シ…親切な子ども ア…あきらめない子ども

新年おめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。令和7年はこれまで以上に、たくさんの行事や活動に意欲的に取り組む子供たちの姿が見られたように感じています。特に、6年生を中心とした児童会の活動は、学校生活を明るく、楽しくしてくれたと思っています。

さて、令和8年は「丙午」（ひのえうま）の年となります。前回、60年前の丙午は、極端に出生数が少なく、学級数がその学年だけ少なかったり、受験の倍率が低くなったり、学校関係にも大きな影響がありました。ご存じの通り江戸時代に広まった迷信を由来としているのですが、それが昭和になっても続いていたことに驚きます。しかし、一般的には、躍動する「午」に、火の力が合わさった勢いのある年といわれています。大きな飛躍のチャンスなので、新しいことや諦めかけていたことに挑戦すると良い結果に繋がると考えられているようで、運勢的には期待の持てそうな感じがします。

先日、6年生が作成していた卒業文集に寄稿を依頼され、「志を立てて、もって万事の源となす」という言葉を贈りました。これは江戸時代後期の日本の武士、思想家、そして教育者であった吉田松陰の言葉で、何をするにもまず明確な目標や志を持つことが重要であり、それが全ての行動の源泉となるという教えです。大きな夢や目標を達成するためには、その過程でぶつかる困難や挫折を乗り越えることが必要です。そして、強い意志を持って事に当たることが、その力を生み出す確かな方法であると私も思います。そこまで大きく構えずとも、年の初めに目標を立てることは、自分自身を後押ししてくれますね。

子どもたちにとって、令和8年が大きな飛躍、確かな成長に繋がる、そんな年になるように、ご家庭の皆様や地域の方々のご協力を得ながら、教職員一丸となって取り組んでまいります。今年もどうぞよろしくお願ひします。

校長 栗山 隆



### ＜受賞の記録＞

- |                      |    |    |    |
|----------------------|----|----|----|
| ○ 宮城県読書感想画コンクール 管内入選 |    |    |    |
| 3年                   | さん | 1年 | さん |
| ○ 宮城県造形作品展 県入選       |    |    |    |
| 2年                   | さん | 1年 | さん |

## 「アカシアっ子習慣」の取組

小牛田小学校のめざす児童像を児童が中心になって考えた「アカシアっ子習慣」を実施しています。12月に全校にアンケートを行い、今年1番頑張って取り組んだ習慣を聞きました。



### <「アカシアっ子習慣」で一番頑張ったこと（数字は%）>

	自分で考えて行動しよう。	ゴールを決めてから始めよう。	WIN-WINになろう	わかってあげてからわかれよう	力を合わせよう
1年	71%	0%	12%	6%	12%
2年	42%	17%	8%	0%	33%
3年	35%	13%	17%	4%	30%
4年	24%	18%	29%	6%	24%
5年	33%	5%	5%	5%	52%
6年	30%	20%	10%	5%	35%

全体的に「自分で考えて行動しよう」「力をあわせよう」を意識して取り組んでいたようです。また、1年生の「自分で考えて行動しよう」は75%、4年生の「WIN-WINになろう」は29%、5年生の「力をあわせよう」が52%など、学年によって一番頑張ったことの違いも見えます。



「わかってあげてから、わかれてもらおう」については、昨年より割合は増加しているものの、他のアカシアっ子習慣とくらべると、「一番頑張った」と感じているお子さんは少なくなっています。相手の話をよく聞き、理解した上で自分の考え方や気持ちを分かってもらえるように伝えることは小学生にとってなかなか難しいことです。しかし、相手の話を聞かず、自分の事だけを話してしまったら、その時は自分の気持ちが楽になりますが、周りからは良いように思われず、友達とのよい関係をつくるのは難しくなります。心のつながりを作ることは難しいのです。

相手のことを分かってあげて自分のこともわかってもらうことができる関係ができると、「1人+1人」よりももっと大きな力を出すことができ、それで得た喜びも大きくなります。それが、学級全体に広がると学級がいい雰囲気になります。相手を分かってあげて、自分も分かってもらうためには、自分のストレートな思いをちょっと柔らかくして伝えてあげることがポイントです。



年は新年になりましたが、今年度はまだ、3ヶ月あります。「自分で考えて行動しよう」「力をあわせよう」という良い習慣を継続しつつ、他の3つのアカシアっ子習慣も意識しながら学年のまとめの3ヶ月を過ごすことで、新しい学年につながるようにしていきます。ご家庭でも、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

